

取付け上の注意

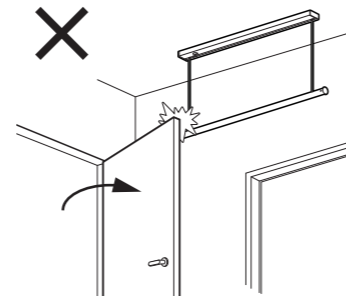
本品を長期間安全にご使用いただくために、また、トラブルのない確実な取付けをしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

警告 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容」です。

- ・本品の天井への固定は、正しい位置に指定本数のネジで確実に行ってください。
- ・固定方法が確実でないと、本体の落下の原因となります。
- ・固定の際、必ず十分な強度を持った木下地に取付けてください。
- ・本品は木製の天井構造用です。コンクリートや金属製野縁（軽天）の場合、p.2. の1「天井部の準備」と同様の木下地及び吊り木（補強）が必要です。
- ・天井材（石こうボード）のみへの取付けや、石こうボードアンカーでの取付けは強度が出ず危険なのでしないでください。
- ・本品は水平天井専用です。勾配（こうばい）のついた天井にそのまま使用しますとポールを吊っている紐が部品とこすれて切れる恐れがありますので、必ず水平に本体を取付けた上でご使用ください。
- ・高所での作業は、転落や製品落下に十分注意してください。（ケガ、製品破損、床への傷つきの原因となります。）
- ・暖房器具やベビーベッドの近くなど、落下すると危険な場所には取付けしないでください。（落下すると、火災やケガの原因となります。）
- ・湯沸かし器の近くには取付けしないでください。（吊り下げた衣類が湯沸かし器に近づくと火災の原因となります。）

注意 「取扱いを誤った場合、傷害を負うこと又は物的損害の発生が想定される内容」です。

- ・建物図面の取付け指定位置及びお施主様の希望位置をご確認ください。
- ・製品には操作側の向きがあります。p.2. の2「取付位置と方向決め」を参照し、設置場所を確認してください。
- ・室内専用です。ベランダや浴室には使用できません。（錆や故障の原因となります。）
- ・ドアの動く範囲や、照明器具、火災報知器、湯沸かし器などの火器の近くには取付けしないでください。 ※右図参照
- ・衣類が揺れて周囲に当たらないよう、取付位置にご注意ください。
- ・電動ドライバーなどで締め付け過ぎないでください。（強力な電動工具では製品や躯体に無理な負荷がかかり、落下、故障、破損の原因となります。）
- ・製品を分解、改造しないでください。（ケガや故障、事故の原因となります。）



仕様

昇降距離：天井～約 680mm

耐荷重：8kg

表示装置：荷重目安ガイド

材質

ベース本体：アルミ押出形材（アルマイト＋塗装）
鉄（塗装仕上）

溝カバー：樹脂押出材

ポール：アルミ押出形材（アルマイト＋塗装）

紐：高力繊維

操作棒：鉄（塗装仕上）

株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木 1-14-41 TEL 048-255-5411 FAX 048-255-8228 <https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

TM-0437-01 25.11

取付説明書

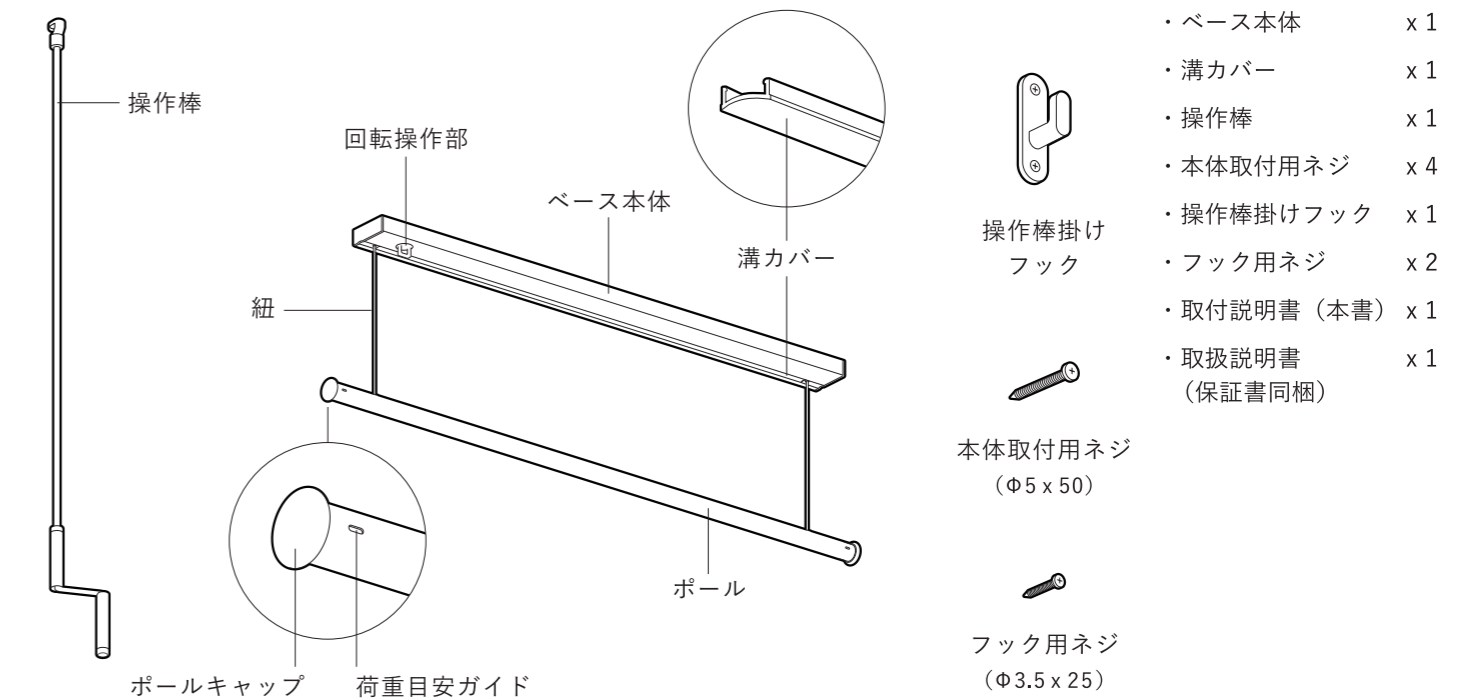
TOOLOOS®

C-120

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
取付け前に本書をよくお読みのうえ、手順に従って安全に注意し、正しく取付けてください。

取付けは製品の落下や事故を防ぐために、建築構造を理解された施工業者様が行ってください。

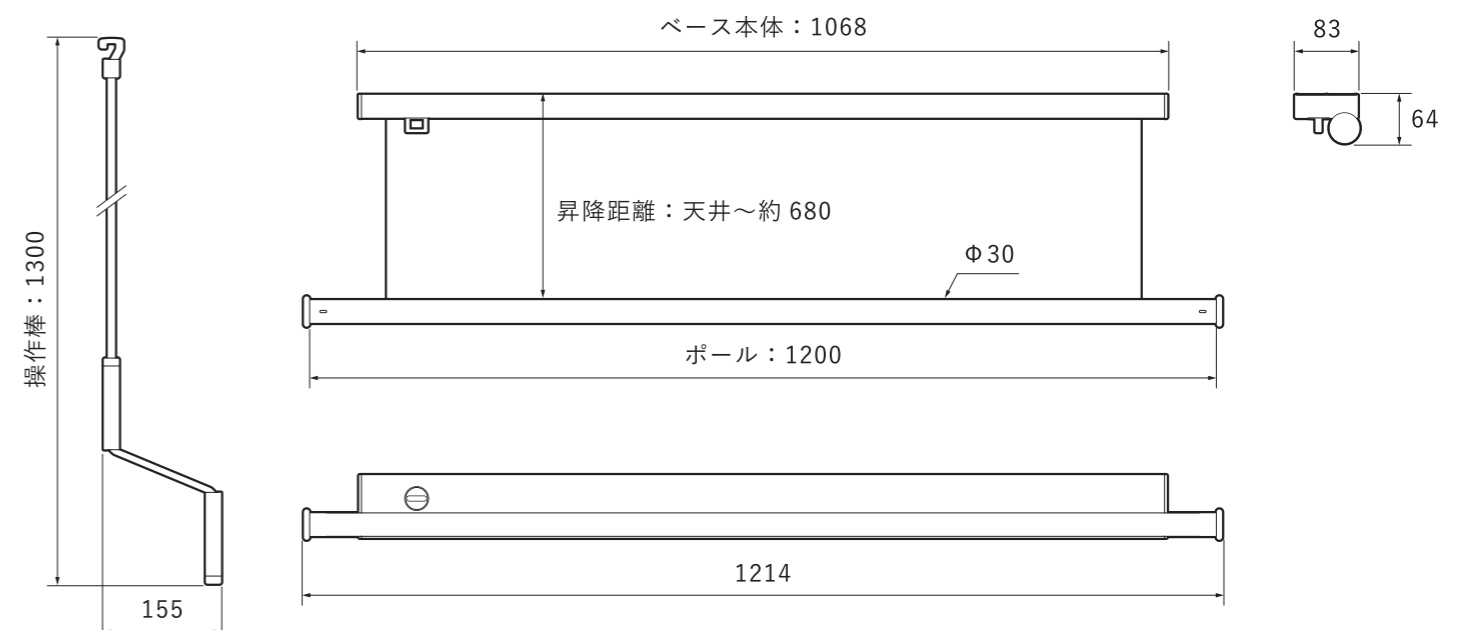
各部名称



梱包内容

- ・ベース本体 x 1
- ・溝カバー x 1
- ・操作棒 x 1
- ・本体取付用ネジ x 4
- ・操作棒掛けフック x 1
- ・フック用ネジ x 2
- ・取付説明書（本書） x 1
- ・取扱説明書（保証書同梱） x 1

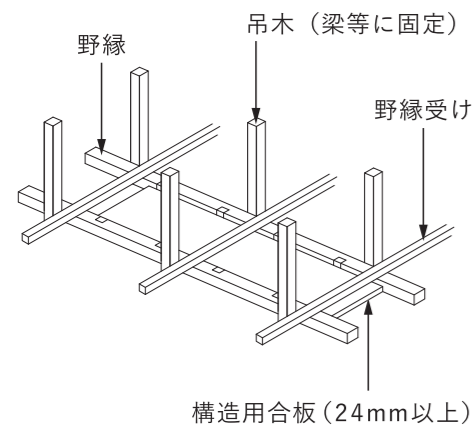
寸法図（単位：mm）



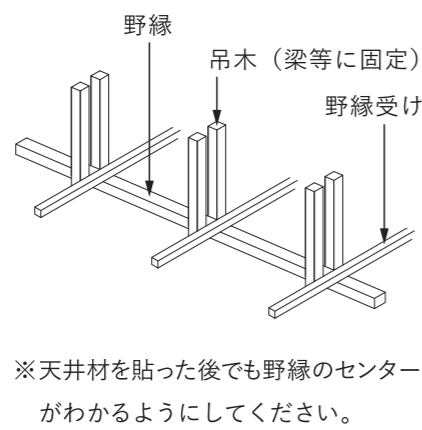
取付方法

1. 天井部の準備 天井木製野縁に図の吊木で十分な強度を持たせてください。

(例) 構造用合板を用いた補強例

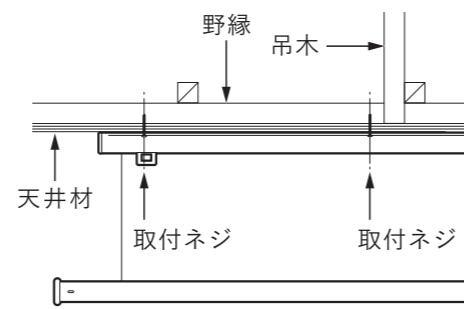


(例) 野縁材の補強例



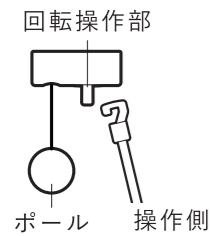
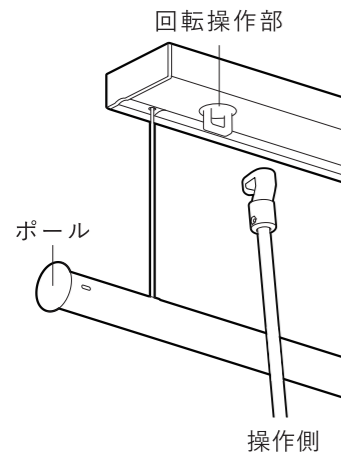
※天井材を貼った後も野縁のセンターがわかるようにしてください。

(例) 野縁材に本体を取付けた状態

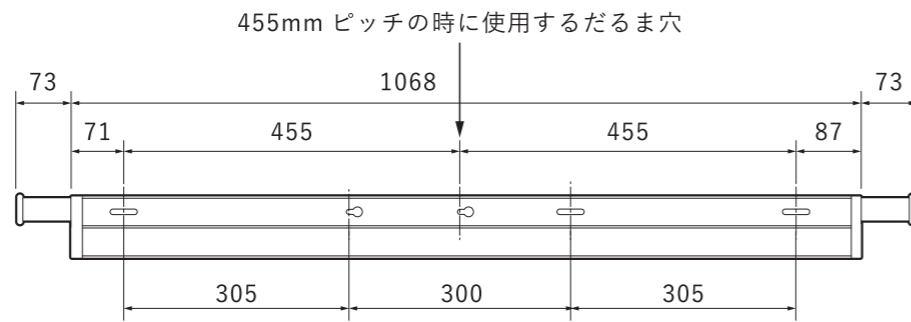


2. 取付位置と方向決め

操作側から見て、回転操作部がポールの手前になる向きで取付けてください。

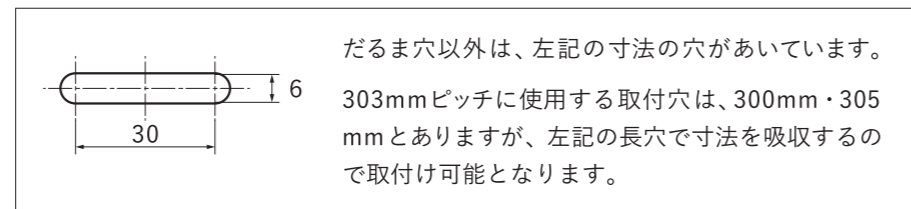


下記の寸法図に合わせて、下穴 (φ3.5~φ4) をあけてください。
※303mmピッチと455mmピッチとでは、使用するネジの本数も取付穴も異なります。必ず確認してください。



303mmピッチの時に使用するだるま穴

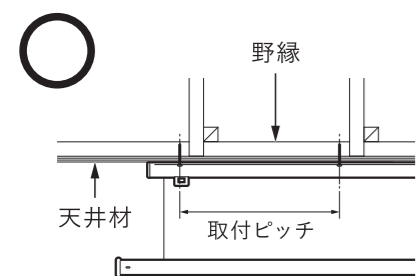
取付け穴形状



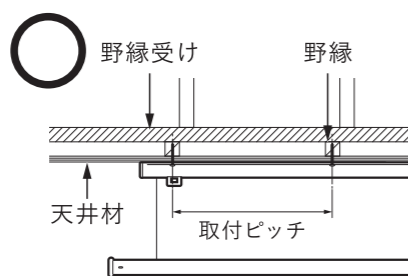
だるま穴以外は、左記の寸法の穴があいています。
303mmピッチに使用する取付穴は、300mm・305mmとありますが、左記の長穴で寸法を吸収するので取付け可能となります。

警告 本体取付ネジは必ず天井材のすぐ裏の野縁に効かせてください。

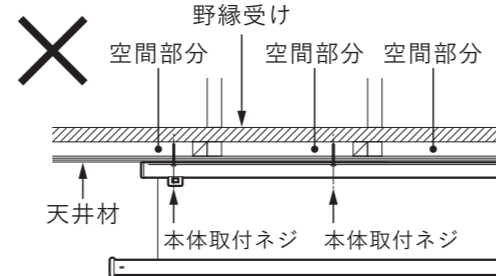
(例1)



(例2)

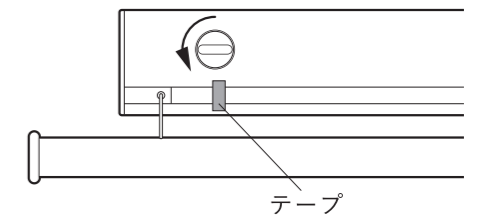


(例3)



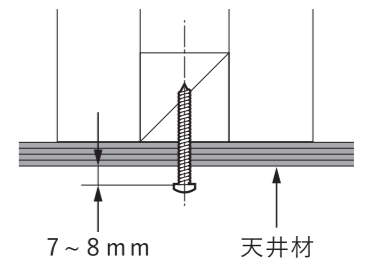
3. 本体の取付け

- 必ずポールを引っ張りながら、回転操作部を左回りに回し、ポールを300mm程度引き出してください。※右図参照
- 製品本体に仮止めされている、溝カバーを外してください。白いテープを引っ張れば、溝カバーが外れるようになっています。※右図参照

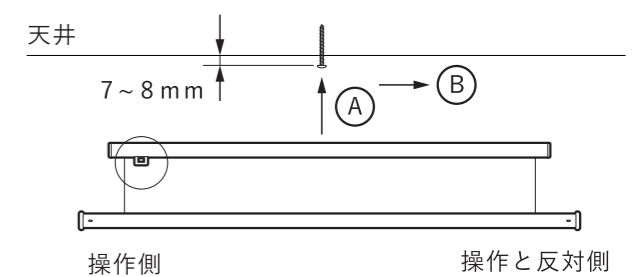
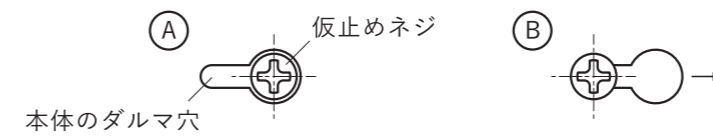


- だるま穴に引っ掛けるため、右図のところに本体取付ネジ (φ5×50) を天井面から7~8mmすきまができるように仮止めします。

※300mmピッチと455mmピッチで、使用するだるま穴が異なります。



- 本体のだるま穴の大きい方に仮止めしたネジの頭を入れ、本体を操作側と反対へずらし引っ掛けます。

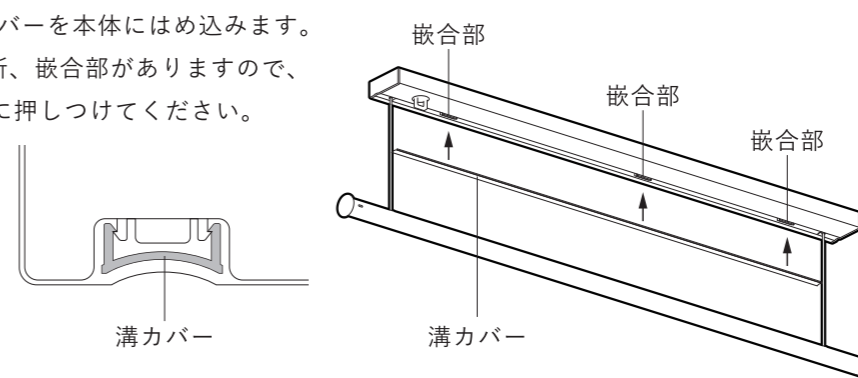


- だるま穴に仮止めしたネジと、その他のネジを本締めしてください。

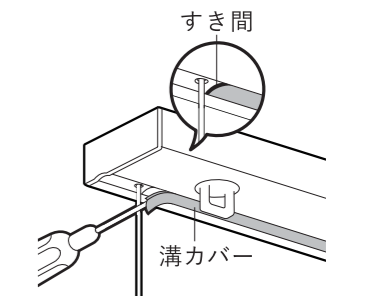
※455mmピッチの場合、使用するネジは3本となります。 ※303mmピッチの場合、使用するネジは4本となります。

警告 電動工具での締め付け過ぎに注意し、最後の締め付けは工具を手で回して行ってください。

- 溝カバーを本体にはめ込みます。3ヶ所、嵌合部がありますので、確実に押しつけてください。



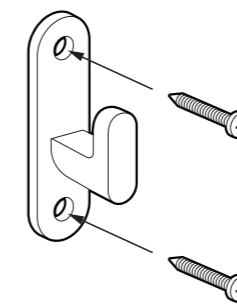
溝カバーの外し方



すき間にマイナスドライバーなどをいれて軽くこじると外れます。

4. 操作棒掛けフックの取付け

使用していない時の操作棒をしまう、操作棒掛けフックをネジの効くところに取付けてください。



5. 取付け後の点検

部品	確認事項
本体	ぐらつかず、ネジが最後までしまっていること。
溝カバー	本体に取付けられていること。
ポール	操作棒を使用して、上下作動すること。